

一 般 概 要

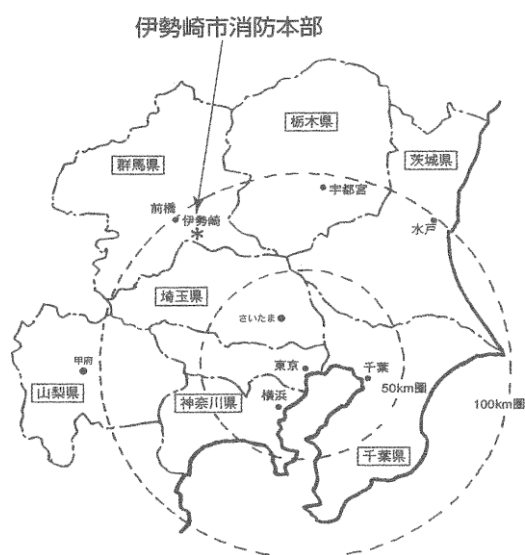
位 置 と 地 勢

当消防本部は群馬県平野部のほぼ中央に位置し、首都東京から西北方約100km圏内にあり諸機能の集積した前橋地区、太田地区および高崎地区とともに有機的な関連をもちつつ、これらの都市群の一角を形成し首都圏整備法に基づく広域都市開発区域として北関東における大規模都市建設の開発拠点となっている。

地勢は、北部に標高150m～170mの丘陵が散在しているが、北部から、南東に向かって、約150分の1のきわめてゆるやかな勾配で平坦部が展開しており、丘陵地帯は、管内の僅か1.0%に満たない状況である。

また、地質は、西部から南部を流れる利根川、中部の広瀬川、粕川、東部を流れる早川などを中心に、沖積層が広がっており、洪積層にはさまった形で分布している。

なお、北方面面には赤城山がそびえ、西方には、榛名山をはじめ、上信越連峰が望見される環境であるため、冬は「上州名物からっ風」などと俗称される赤城おろしが強く、また夏には雷も激しい。



管内の面積・人口・世帯数

	面積 (km ²)	令和7年4月1日現在		令和8年4月1日現在		人口伸び率(%) (前年度比)
		人口(人)	世帯数	人口(人)	世帯数	
伊勢崎市	139.44	211,651	97,403	211,011	98,317	-0.30
玉 村 町	25.78	35,402	16,440	35,171	16,541	-0.65
合 計	165.22	247,053	113,843	246,182	114,858	-0.35

消 防 の 沿 革

沿革 ●協定 ■訓練		施設・車両・通信等整備
昭和18年	3 月	・伊勢崎市警防団常備消防部を開設する。（部員14人・自動車ポンプ2台）
昭和22年	1 2 月	・伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団に改称する。
昭和28年	9 月	・伊勢崎市消防団常備消防部が救急業務を開始する。
昭和29年	1 1 月	・伊勢崎市消防団常備消防部を廃し、伊勢崎市消防本部・消防署を開設する。 （職員31人・速消車2台・救急自動車1台・普通車1台）
昭和30年	9 月	・消防用無線電話(短波)装備設置(基地局1台・移動局1台・受信機33機) 《市長1・消防幹部5・消防団詰所25・水源地1・東電1》
昭和32年	8 月	・境町消防団常備消防部を開設する。（部員2人・速消車1台）
昭和40年	3 月	・超短波無線電話装置配備（基地局1台・救急自動車）
昭和41年	4 月	・玉村町は町役場職員により救急業務を開始する。
	1 2 月	・超短波無線電話装置配備（1号車・3号車）
昭和42年	3 月	・超短波無線電話装置配備（2号車・化学車・指令車）
	4 月	・境町消防団常備消防部を廃し、境町消防本部・消防署を開設する。（職員28人・速消車1台・普通車1台）
	1 2 月	・境町消防本部が救急業務を開始する。
昭和44年	1 月	・伊勢崎市が赤堀村・東村の救急業務を受託する。
昭和45年	2 月	【施設】伊勢崎市消防庁舎（後に広域消防本部庁舎）起工
昭和46年	3 月	・伊勢崎佐波消防組合発足に伴い、伊勢崎市消防本部・境町消防本部を解散する。
	4 月	・伊勢崎佐波消防組合を発足する。
	1 1 月	【車両（新規）】連絡車（伊勢崎消防署）
	1 2 月	【車両（新規）】スノーケル車（伊勢崎消防署）
昭和47年	3 月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎・国定・境・玉村消防署が新築完成する。
	4 月	・国定消防署・玉村消防署・伊勢崎消防署北分署が業務を開始する。 ・消防職員46人増員する。（職員数138人） （消防本部19人・伊勢崎消防署41人・北分署13人・国定消防署19人・境消防署29人・玉村消防署17人）
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通消防ポンプ自動車・連絡車（伊勢崎消防署北分署）
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車・連絡車（国定消防署・玉村消防署）
	5 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署）
	8 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）
	9 月	・伊勢崎佐波消防組合を解散する。
	1 0 月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合へ消防事務を編入する。
昭和48年	2 月	【車両（新規）】広報車（消防本部） 《伊勢崎ライオンズクラブ・伊勢崎中央ライオンズクラブより寄贈》
	3 月	・救急一斉指令装置配備（伊勢崎消防署）
	4 月	・消防職員9人増員する。（職員数141人）
	7 月	【車両（新規）】救急自動車（玉村消防署）《群馬県農業共済協同組合連合会より寄贈》
	8 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）《日本消防協会より寄贈》
	9 月	【車両（新規）】救急自動車（境消防署） ・自動気象記録観測装置設置（伊勢崎消防署）
	1 0 月	・伊勢崎消防署北分署が救急業務を開始する。
	1 1 月	【車両（新規）】大型消火器積載車（境消防署）《境ライオンズクラブより寄贈》
昭和49年	4 月	・消防職員4人増員する。（職員数145人）
	1 0 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《伊勢崎佐波危険物安全協会より寄贈》
昭和50年	4 月	・消防本部総務課に消防団係を新設する。
	7 月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》

	1 1 月	【車両（新規）】連絡車（国定消防署）《国定ライオンズクラブより寄贈》
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	1 2 月 ●	大火災・その他特殊火災が発生した場合の被害を最小にする目的で、群馬県全域の 1 1 消防本部と相互応援協定を締結する。
昭和51年	2 月	・防災通信の合理化（県波導入）のため、消防車用超短波無線基地局設置（消防本部）
	4 月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防団審議会を発足する。 ・消防職員 5 人増員する。（職員数 1 5 0 人）
	1 1 月	【車両（新規）】消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）《日本損害保険協会より寄贈》
	1 2 月 ●	特殊災害による被害を最小にする目的で、群馬・栃木隣接の 5 消防本部と相互応援協定を締結する。 （桐生市・太田地区・館林地区・佐野地区・足利市）
昭和52年	2 月	【装備】河川等における野火対策強化のため、可搬動力ポンプを配備する。（伊勢崎消防署・境消防署）
	6 月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署）
昭和53年	4 月	・消防職員 3 人増員する。（職員数 1 5 3 人）
		【車両（新規）】連絡車（消防本部）
	9 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	1 1 月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。 （三郷・宮郷・豊受地区）《2 ヶ年継続事業》
	1 2 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）《日本損害保険協会より寄贈》
昭和54年	1 月	【車両（新規）】広報車（境消防署）
	2 月	【車両（新規）】乗用車（境消防署）《境危険物安全協会より寄贈》
	4 月	・消防職員 2 人増員する。（職員数 1 5 5 人）
	1 1 月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。 （殖蓮・伊勢崎北・南・茂呂・名和地区）《継続 2 年次》
昭和55年	4 月	・消防職員 2 人増員する。（職員数 1 5 7 人）
		・救急医療情報システムを財団法人群馬県救急医療情報センターとの協定により運用開始する。
	6 月	・住民サービスと通信業務を円滑にするため、テレホンサービスを開始する。 【車両（新規）】広報連絡車（国定消防署・玉村消防署）
昭和56年	3 月	【車両（新規）】30m級はしご付消防ポンプ自動車・化学消防ポンプ自動車Ⅲ型・救助工作車 （伊勢崎消防署）
		【車両配置替え】スノーケル車（伊勢崎消防署→境消防署）
昭和57年	2 月	【車両（新規）】広報車（消防本部）
	3 月	【施設】伊勢崎消防署南分署庁舎及び救助訓練施設が新築完成する。
	4 月	・消防職員 1 1 人増員する。（職員数 1 6 8 人） ・伊勢崎消防署南分署が業務を開始する。 【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通ポンプ自動車・救急自動車・広報車
	8 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）《日本消防協会を通じ日本船舶振興会より寄贈》
	1 2 月	【車両（新規）】広報連絡車（消防本部・伊勢崎消防署）
昭和58年	1 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署北分署・国定・境・玉村消防署）
		【車両（新規）】救急自動車（国定消防署）
	3 月	【車両（新規）】普通消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
		【施設】境消防署庁舎・車庫を増改築する。
	9 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《富士重工業㈱より寄贈》
昭和59年	5 月 ■	第 6 回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市役所）
	1 1 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）《日本自動車工業会より寄贈》
昭和60年	3 月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署北分署）
		【車両（新規）】広報車（国定消防署）《国定ライオンズクラブより寄贈》
		【車両（新規）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）

	4 月	・非常備消防に関する事務が組合の共同処理する事務から除かれ、消防団が市町村へ帰属する。 ・境町消防団の出場指令の合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
	7 月 ■	利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》
	1 0 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【装備（新規）】水難救助用アルミボート（伊勢崎消防署南分署）
昭和61年	4 月	・消防職員 1 人増員する。（職員数 1 6 9 人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（昭和 6 3 年 3 月 3 1 日まで） ● 関越自動車道の本庄から関越トンネル内県境間における災害を最小にする目的で、6 消防本部と相互応援協定を締結する。
	1 1 月	・消防本部警防課に通信指令係を新設する。
	1 月	【通信】広域消防の火災出場態勢を強化するため、出場区分を大幅に改正し、各無線局の呼出しを変更する。 ・広域管内における救急隊の多重出場に対処するため、出場区分を定める。
昭和62年	1 0 月	【施設】国定消防署通信室を増改築する。
	1 1 月	【施設】消防本部庁舎 3 階に通信指令室及び事務室を増築する。 【車両（更新）】普通ポンプ自動車 B D - I 型（国定消防署・境消防署） 【車両（新規）】15m級はしご付消防ポンプ自動車（バスケット付）（境消防署）
	2 月	【通信】昭和62・63年度2ヵ年継続事業（国庫補助）として計画した消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち指令装置・無線統制台・自動出場指令装置及び電話交換機の設置が完了し、運用開始する。
	4 月	【通信】群馬県防災行政無線を群馬県との協定により運用開始する。
	6 月	【車両（新規）】広報車（消防本部・伊勢崎消防署・玉村消防署）
	9 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【施設】玉村消防署庁舎を新築移転する。
	1 1 月	【車両（新規）】マイクロバス（消防本部）
昭和63年	1 2 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署） 【車両（新規）】連絡車（境消防署）《境町危険物安全協会より寄贈》
	2 月	【施設】国定消防署車庫を増改築する。
	3 月	【通信】消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち気象観測装置及び地図等検索装置の設置が完了し、運用開始する。
	5 月 ■	第 1 1 回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市文化会館）
	1 1 月	【車両（更新）】広報車（境消防署） 【車両（新規）】資機材運搬車（伊勢崎消防署南分署）
	1 2 月	【施設】消防本部庁舎内部の改修工事を行い、伊勢崎消防署事務室を庁舎 1 階に移転する。
	3 月	【施設】境消防署に訓練塔 1 基を建設する。 【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（3,400ℓ）（玉村消防署）
平成2年	4 月	・消防職員 6 人増員する。（職員数 1 7 5 人） ・警防課装備施設係を廃し、その事務を総務課経理係に包含する。
	8 月	【車両（新規）】小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）（伊勢崎消防署） ■ 群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《群馬県・伊勢崎市共催》
	1 2 月	【通信】救急出動の増加に伴い救急波無線を導入する。
平成3年	2 月	【車両（更新）】広報車（消防本部）
	3 月	【施設】東消防署庁舎が新築完成する。 ・デジタル式遠隔装置を導入する。

	4月	・消防職員4人増員する。(職員数179人) ・東消防署が業務を開始する。 【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(4,000ℓ)・救急自動車・広報車 ・国定消防署を赤堀消防署に改称する。
	11月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(4,000ℓ)(境消防署・玉村消防署)
	平成4年 3月	【車両(新規)】照明車(6,000W)(伊勢崎消防署) 【車両(更新)】救急自動車(伊勢崎消防署南分署)
	4月	・消防職員7人増員する。(職員数186人)
	5月	【車両(新規)】乗用車(消防本部)《恵工業株式会社より寄贈》
	7月	【車両(更新)】広報車(伊勢崎消防署)
	9月	【車両(更新)】救急自動車(赤堀消防署)
	12月	・伊勢崎市高齢者向緊急通報システムを運用開始する。
平成5年	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署庁舎が新築完成する。
	4月	・消防職員12人増員する。(職員数198人) ・伊勢崎消防署西分署が業務を開始する。【車両(新規)】水槽付消防ポンプ自動車(4,000ℓ)・救急自動車
	7月	・東村オフトーク通信を東村との協定により運用開始する。
	12月	・玉村町オフトーク通信を玉村町との協定により運用開始する。
平成6年	1月	【車両(更新)】救急自動車(伊勢崎消防署北分署)
	2月	・応急手当講習会(普通救命講習会)の第1回目が行われる。
	3月	【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(4,000ℓ)(伊勢崎消防署・伊勢崎消防署南分署・赤堀消防署) 【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(境消防署) ・パソコンを導入し、業務の合理化を図る。
	4月	・消防職員5人増員する。(職員数203人) ・警防課通信指令係を廃し、通信指令課を新設する。(課長以下13人 指令1係・指令2係) ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成8年3月31日まで)
	5月	・組合第1号救急救命士が誕生する。
平成7年	6月	・赤堀町防災無線を赤堀町との協定により運用開始する。
	2月	【車両(更新)】広報連絡車(高床式)(消防本部)、救助工作車Ⅱ型(伊勢崎消防署)、指令車(赤堀消防署) 【車両(更新)】救急自動車(境消防署・玉村消防署)
	4月	・中隊制を係制に改める。 ・伊勢崎消防署に課制を敷き、救助1係・救助2係(各6人)を新設する。
	5月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《建設省・関東1都6県共催》
	6月	● 群馬県緊急消防援助隊が発足する。
	9月	【施設】消防本部庁舎の落雷対策工事を行う。 ■ 第17回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。(群馬県教育センター)
	10月	・定数条例を改定し、203人が233人となる。 【車両(新規)】広報連絡車(伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署)
	平成8年 2月	【車両(更新)】化学車Ⅱ型(伊勢崎消防署)
	3月	【施設】赤堀消防署食堂等を増改築する。 【施設】伊勢崎消防署西分署・玉村消防署に訓練塔1基建設する。
	4月	・消防職員10人増員する。(職員数213人) ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成9年3月31日まで)
	10月	【通信】災害情報案内の同時情報提供(1,024人)サービスを開始する。
	12月	・境町防災無線を境町との協定により運用開始する。
	平成9年 1月	・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成11年3月31日まで) ● 火災・地震等大規模災害が発生した場合の人的・物的被害を最小にする目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県児玉郡市広域市町村圏組合及び深谷市・岡部町共同事務組合と応援協定を締結する。

	3月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎を新築移転する。（付帯設備 訓練塔） 【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署） 【装備（新規）】高規格救急自動車導入に伴い、心電図受信装置を3病院（救急告示病院）に設置する。 【車両（更新）】指令車2台（消防本部）、指令車（伊勢崎消防署・玉村消防署） 【車両（新規）】資機材運搬車（消防本部）、普通ポンプ自動車（CD-Ⅰ型900ℓ水槽付）（東消防署）
	4月	・消防職員11人増員する。（職員数224人） ・本部次長制を廃止する。 ・消防本部予防課に予防係（3人）及び各消防署（各分署を除く）に救急1係、救急2係（各3人）を新設する。
	5月	● 地震・台風・水害・火災及び事故等の災害時に、群馬県防災航空隊の応援を受けることによって被害を最小にする目的で群馬県と応援協定を締結する。
	11月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車（CD-Ⅰ型900ℓ水槽付）（赤堀消防署・境消防署） 【車両（新規）】指令車（消防本部）《柏井建設㈱より寄贈》
平成10年	1月	● 火災・地震等の災害時に、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小にする目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結する。
	4月	・消防職員3人増員する。（職員数227人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成12年3月31日まで）
	8月	【施設】赤堀消防署訓練場に照明灯を設置する。
	10月	【通信】携帯電話等からの119番通報システムを運用開始する。
平成11年	3月	【車両（更新）】40m級はしご付消防自動車（伊勢崎消防署） 【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	4月	・消防職員3人増員する。（職員数230人） ・伊勢崎市役所農林行政部庶務課へ職員を出向させる。（平成14年3月31日まで）
	6月	【施設】玉村消防署訓練場に照明灯を設置する。
	11月	【施設】東消防署訓練場に照明灯を設置する。
平成12年	1月	・ダイヤルイン方式の運用を開始する。
	2月	【通信】平成11年度事業（国庫補助）として計画した消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）指令装置、表示盤、無線統制台、自動出動指定装置、指令伝達装置及び気象情報収集装置等の更新が完了し運用開始する。 ・群馬県知事特別功労表彰を受賞する。 （群馬県消防大会において参加したアトラクション、寸劇「残月赤城山」が県知事に評価されたもの）
	3月	【車両（新規）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（東消防署）
	4月	・消防職員2人増員する。（職員数232人） ・火災調査課を新設する。（火災調査係 課長以下4人）【車両（新規）】火災調査車 ・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。（平成14年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成14年3月31日まで）
	11月	【車両（更新）】広報連絡車（消防本部）
平成13年	3月	【車両（新規）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（赤堀消防署） ・イベント広報用のミニ消防車・超ミニ消防車を製作し運用を開始する。
	3月	・北関東自動車道開通に伴い、高速救急隊（北分署・10人を併任）を発足し運用開始する。
	4月	・消防職員1人増員する。（職員数233人） ・定数条例を改正し、233人が242人となる。
	8月	【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	10月	【車両（新規）】指令車（境消防署）
平成14年	3月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（伊勢崎消防署北分署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（伊勢崎消防署西分署） 【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（4,500ℓ）（玉村消防署）

平成15年	4月	・消防職員2人増員する。(職員数235人) ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成17年3月31日まで) ・伊勢崎市役所農林行政部庶務課へ職員を出向させる。(平成16年12月31日まで)
	10月	・消防本部・各署(分署)へインターネット接続用パソコンを導入し、運用開始する。
	11月	【装備(新規)】水難救助用水上バイク(境消防署)《境町ライオンズクラブより寄贈》
	2月	【車両(更新)】指令車(東消防署)、高規格救急自動車(玉村消防署)
平成16年	3月	【車両(更新)】火災調査車(火災調査課)、資機材運搬車(伊勢崎消防署南分署) 【施設】赤堀消防署庁舎を新築移転する。
	4月	・消防職員5人増員する。(職員数240人)
	9月	【装備(更新)】水難救助用パワーボート(伊勢崎消防署)
	2月	【車両(更新)】高規格救急自動車(境消防署) ・消防本部・伊勢崎消防署の一部に庁内ネットワークシステム(サーバ1台・パソコン30台)を導入する。
平成17年	3月	【車両(更新)】小型動力ポンプ付水槽車(10,000ℓ)(伊勢崎消防署) 【車両(更新)】水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)(東消防署)、乗用車(消防本部) 【施設】火災調査課の消防本部庁舎移転に伴い改築する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者12人。(職員数240人) ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。(平成18年3月31日まで)
	6月	【通信】IP電話を用いた緊急通報を運用開始する。
	12月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合が解散する。
平成18年	1月	・市町村合併により伊勢崎市消防本部に名称変更する。 ・佐波郡玉村町より消防事務(消防団・水利事務を除く)を受託する。 【車両(更新)】マイクロバス(消防本部)
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者4人。(職員数242人)
	5月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。(八斗島ちびっこ広場)《国土交通省・関東1都6県共催》
	12月	【通信】携帯電話直接受信システムを運用開始する。
平成19年	3月	【車両(更新)】指令車(伊勢崎消防署) 【車両(更新)】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)(境消防署)
	4月	・消防職員7人採用、市長部局より1人出向、前年度退職者11人。(職員数239人) ・消防本部警防課に救急救助係を新設し、消防係を消防安全係に名称変更する。 ・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。(平成20年3月31日まで) ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。(平成21年3月31日まで)
	8月	【装備(新規)】潜水用具(伊勢崎消防署)、水難救助用ゴムボート(伊勢崎消防署南分署) 【車両(新規)】牽引用トレーラー(伊勢崎消防署南分署)
	9月	【施設】伊勢崎消防署北分署に浴室等を設置する。
平成20年	1月	【施設(更新)】高圧ガス製造所内空気充填設備(30MPa対応コンプレッサー)(消防本部)
	3月	【施設(更新)】緊急出動灯(伊勢崎消防署) 【車両(更新)】高規格救急自動車(伊勢崎消防署)、 水槽付消防ポンプ自動車(3,500ℓ)(玉村消防署) 【車両(更新)】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)(伊勢崎消防署西分署・境消防署)
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者5人。(職員数240人)
	9月	【施設】赤堀消防署庁舎の浴室を増設する。
平成20年	2月	【車両(更新)】指令車(消防本部)、15m級はしご付消防ポンプ自動車(境消防署) 【車両(更新)】災害対応特殊救急自動車(赤堀消防署)
	4月	・消防職員11人採用、前年度退職者10人。(職員数242人) ・火災調査課を廃し、消防本部に指揮調査課を新設する。(指揮調査第1係、第2係) (課長〔総務担当が兼任〕以下9人)

		・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成２２年３月３１日まで）
	9月	【施設】伊勢崎消防署寝室棟が完成する。（リースによる規格建築物）
平成21年	1月	【車両】40m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	2月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。（職員数242人） ・高崎市等広域市町村圏振興整備組合に消防救急無線共同整備に係る事務を委託する。
	10月	【通信】消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）のうち指令装置、表示盤、指令伝送装置の改修及び統合型位置情報通知装置（携帯・IP電話）の設置が完了し、運用を開始する。
	12月	【車両（更新）】高規格救急自動車（東消防署）
平成22年	3月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】伊勢崎消防署仮設訓練塔の建替を行う。
	4月	・消防職員5人採用、前年度退職者5人。（職員数242人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成２５年３月３１日まで） ・高崎市等広域消防局へ職員を派遣する。（平成２３年３月３１日まで） 【車両配置替え】普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）《境消防署→伊勢崎市消防団本部》 【車両配置替え】防火号《伊勢崎市消防団本部→伊勢崎消防署》 【車両配置替え】水防車《伊勢崎市消防団境方面隊本部→境消防署》
	7月	【通信】統合型位置情報システム（NTT固定電話）の運用を開始する。
平成23年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】玉村消防署庁舎を増築する。
	3月	【施設】消防本部庁舎の耐震診断を業務委託する。
	4月	・消防職員8人採用、前年度退職者8人。（職員数242人） ・条例定数を改正し242人が260人となる。
	6月	【施設】伊勢崎消防署緊急車両庫庫の壁面塗装工事を行う。（東日本大震災による災害復旧工事）
	8月	【車両（更新）】指令車（消防本部・赤堀消防署）
	10月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
平成24年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署） 【車両（更新）】救助工作車Ⅲ型（伊勢崎消防署） ・消防水利（防火水槽）の一元管理を図るため、消防水利管理システムを構築する。
	3月	【装備】緊急消防援助隊設備及び多数傷病者発生災害対応の強化を図るため、チューブ膨張式エアテント付属品（前室・エアコン等）を購入し、配備する。
		・高崎市等広域市町村圏振興整備組合との消防救急無線共同整備に係る事務委託を廃止する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者10人。（職員数244人） ・毎月実施していたサイレンの定時吹鳴試験を、毎月1日の正午実施に変更する。
	8月	【通信】全国瞬時警報システム（J-ALERT）を整備し、運用開始する。 【通信】市民向け災害情報メールの配信を開始する。
	11月	・イベント用ミニはしご車の運用を開始する。
		・消防本部庁舎敷地を拡幅する。（借用していた駐車場ほか5筆 1867.74㎡を取得）
平成25年	2月	【車両（更新）】指令車・指揮車（消防本部）・高規格救急自動車（境消防署） 【車両（更新）】玉村消防署に指令車が更新配備される。
		● 大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定を藤本商事株式会社と締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署に女性職員用スペース設置工事を行う。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者5人。（職員数255人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成２７年３月３１日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成２８年３月３１日まで）
	9月	■ 群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《群馬県・伊勢崎市共催》

		【施設】 消防本部車庫棟が完成する。（リース契約）
		【施設】 消防本部庁舎建設工事を着工する。（平成27年2月27日まで）
	10月	【施設】 伊勢崎消防署南分署の車庫シャッター設置工事を行う。
平成26年	1月	【車両（更新）】 高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	3月	【車両（更新）】 資機材運搬車（パワーゲート付）（境消防署）
		【車両配置替え】 資機材運搬車《境消防署→伊勢崎消防署南分署》
		【通信】 平成25・26年度2ヵ年事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事のうち移動局の車載型無線装置及び卓上型無線装置の設置工事、携帯型無線装置及び可搬型無線装置の配置が完了する。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。（職員数255人） ・前年度退職者6人を再任用する。（再任用職員数6人） ・伊勢崎消防署の各分署に救急1係・救急2係（各3人）を新設する。
平成27年	3月	【施設】 平成25・26年度2ヵ年事業の消防本部庁舎が完成する。 【通信】 平成26年度事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事により基地局無線設備及び指令センターの整備が完了し、高機能消防指令センターの運用を開始する。
	4月	・消防職員9人採用、前年度退職者7人。（職員数256人） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数3人） ・指揮調査課に調査係を新設する。
	5月	■ 利根川水系連合・総合水防演習が実施される。（境島村地先 利根川左岸177km付近） 《主催・国土交通省、関東1都6県、伊勢崎市》
	6月	【施設】 玉村消防署用地を拡張する。（1546㎡を取得）
	9月	【施設】 消防本部旧庁舎解体外工事を行う。
平成28年	1月	【施設】 東消防署車庫棟塗装工事を行う。
		【車両（更新）】 高規格救急自動車（赤堀消防署）
	3月	【車両（新規）】 資機材運搬車（支援車Ⅱ型）（消防本部）
		【車両配置替え】 水難救助用水上バイク《境消防署→伊勢崎消防署南分署》 牽引用トレーラー《境消防署→伊勢崎消防署南分署》
		【車両配置替え】 水難救助用ゴムボート《伊勢崎消防署南分署→伊勢崎消防署》
	4月	・消防職員3人採用、前年度退職者2人。（職員数257人） ・前年度退職者2人を再任用する。（再任用職員数2人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成30年3月31日まで）
	11月	【施設】 伊勢崎消防署南分署訓練塔木製パネル改修工事を行う。
平成29年	2月	【車両（更新）】 広報連絡車（本部2）（消防本部）
		【車両（更新）】 高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	3月	【施設】 消防本部訓練塔が完成する。
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者2人。（職員数259人） ・前々年度退職者2人を再任用する。（再任用職員数2人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成32年3月31日まで）
	7月	【施設】 伊勢崎消防署西分署空調設備機器等交換工事を行う。 【施設】 東消防署空調設備機器等交換工事を行う。
平成30年	1月	【車両（更新）】 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	3月	【水利】 伊勢崎消防署南分署に耐震性貯水槽（潜函工法）40m ³ を設置する。
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者4人。（職員数259人） ・前年度退職者1人を再任用する。（再任用職員数1人）
	5月	【車両（新規）】 危険物安全協会車2号車（消防本部）《危険物安全協会より寄贈》 ● 消防活動の協力に関する協定を株式会社サンケンと締結する。
	6月	● 消防活動の協力に関する協定を第一工業株式会社と締結する。

	7月	【車両（修繕）】38m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	11月	【車両（修繕）】15m級はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する。（境消防署）
		【施設】伊勢崎消防署南分署車庫塗装工事を行う。
平成31年	1月	【施設】赤堀消防署訓練場舗装工事を行う。
	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	3月	【車両（廃車）】防火号（伊勢崎消防署）
	4月	・消防職員4人採用、前年度退職者5人。（職員数258人） ・前年度退職者1人を再任用する。（再任用職員数2人）
令和元年	7月	【装備（更新）】水難救助用ボート（境消防署）
	9月	【装備（更新）】水難救助ボート用船外機（境消防署）
令和2年	2月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（東消防署）
	3月	【車両（更新）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署）
		【車両（更新）】指令車（本部3）（消防本部）
	4月	・消防職員7人採用、前年度退職者4人。（職員数260人 ※市役所出向者除く） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数5人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（令和4年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和4年3月31日まで） ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる（令和5年3月31日まで）
令和3年	1月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	2月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署北分署）
	4月	・消防職員5人採用、前年度退職者5人。（職員数260人 ※市役所出向者除く） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数7人） ・消防本部に救急課（救急指導係・救急管理係）を新設する。 ・指揮調査課について、組織を警防課に移管し廃止する。 ・警防課について、上記組織の移管（11人 指揮調査第1係・第2係）ほか、消防安全係を消防救助係に名称変更する。
	12月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（東消防署）
令和4年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署）
	3月	【車両（更新）】資機材運搬車（消防本部）
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者7人。（職員数259人 ※市役所出向者除く） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数9人） ・定数条例を改正し、260人が283人となる。 ・群馬県総務部消防保安課へ職員を派遣する。（令和6年3月31日まで） ● 大規模災害時の協力体制及び職員の教育に関する協定を群馬ボートライセンススクールと締結する。
		【車両配置換え】広報連絡車≪東消防署→消防本部≫
	12月	【通信】高機能消防指令センターの部分更新が完了する。
令和5年	1月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
	3月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（玉村消防署）
	4月	・消防職員5人採用、前年度退職者2人。（職員数262人 ※市役所出向者除く） ・再任用職員数4人 ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和8年3月31日まで） ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる。（令和8年3月31日まで）
	5月	【車両（更新）】指令車（境消防署）
	8月	【施設】境消防署庁舎を新築移転する。
	11月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	12月	【車両（更新）】高規格救急自動車（境消防署）

令和6年	3月	【車両（更新）】指令車（東消防署） 【装備（更新）】水難救助用ボート・船外機（伊勢崎消防署）
	4月	・消防職員8人採用、前年度退職者4名。（職員数266人※市役所出向者除く） ・再任用職員数2人
令和7年	1月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（境消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（赤堀消防署）
	3月	【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（伊勢崎消防署）
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者6名。（職員数266人※市役所出向者除く） ・再任用職員数3人
令和8年		【車両配置換え】資機材運搬車《伊勢崎消防署→境消防署→南分署》
	3月	【車両（更新）】災害対応特殊はしご付消防自動車（伊勢崎消防署）
	3月	【車両（更新）】資機材搬送車（伊勢崎消防署）
	4月	・消防職員10人採用、前年度退職者4名。（職員数272人※市役所出向者除く） ・再任用職員数3人 ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（令和10年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和11年3月31日まで） ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる（令和11年3月31日まで）

消防署配置図

消防本部 伊勢崎市消防団本部

人員	62名
指令車	4台
広報連絡車	4台
マイクロバス	1台
乗用車	1台
資機材運搬車	2台
指揮車	1台
火災調査車	1台
救急車(非常用)	2台

伊勢崎消防署 第1・第2方面隊本部

人員	59名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	2台
はしご車	1台
化学車	1台
救助工作車Ⅲ型	1台
指令車	1台
資機材運搬車	1台



伊勢崎消防署北分署

人員	21名
タンク車	1台
救急車	1台
広報連絡車	1台

伊勢崎消防署西分署

人員	19名
タンク車	1台
救急車	1台
広報連絡車	1台



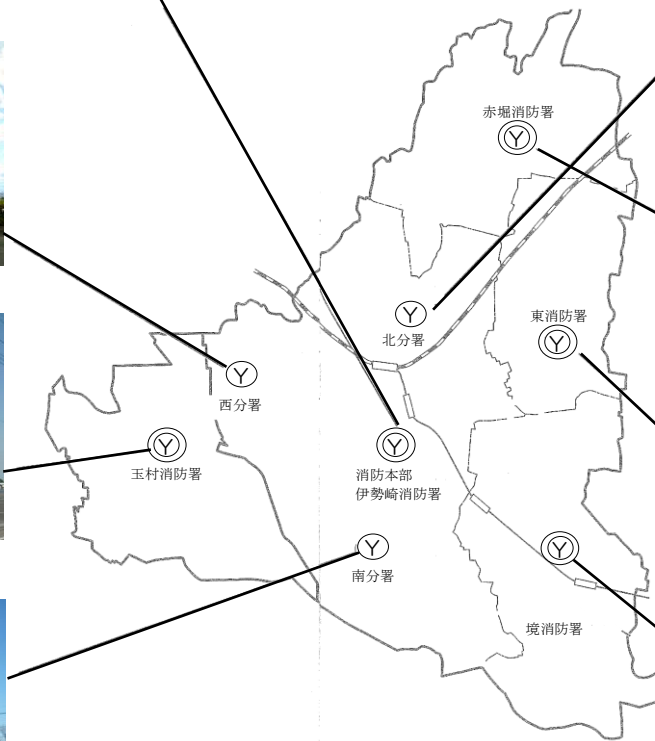
玉村消防署

人員	24名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	1台
指令車	1台



伊勢崎消防署南分署

人員	21名
タンク車	1台
救急車	1台
資機材運搬車	1台
広報連絡車	1台



赤堀消防署

赤堀方面隊本部

人員	22名
タンク車	1台
普通ポンプ車	1台
救急車	1台
指令車	1台



東消防署

東方面隊本部

人員	20名
タンク車	1台
普通ポンプ車	1台
救急車	1台
指令車	1台

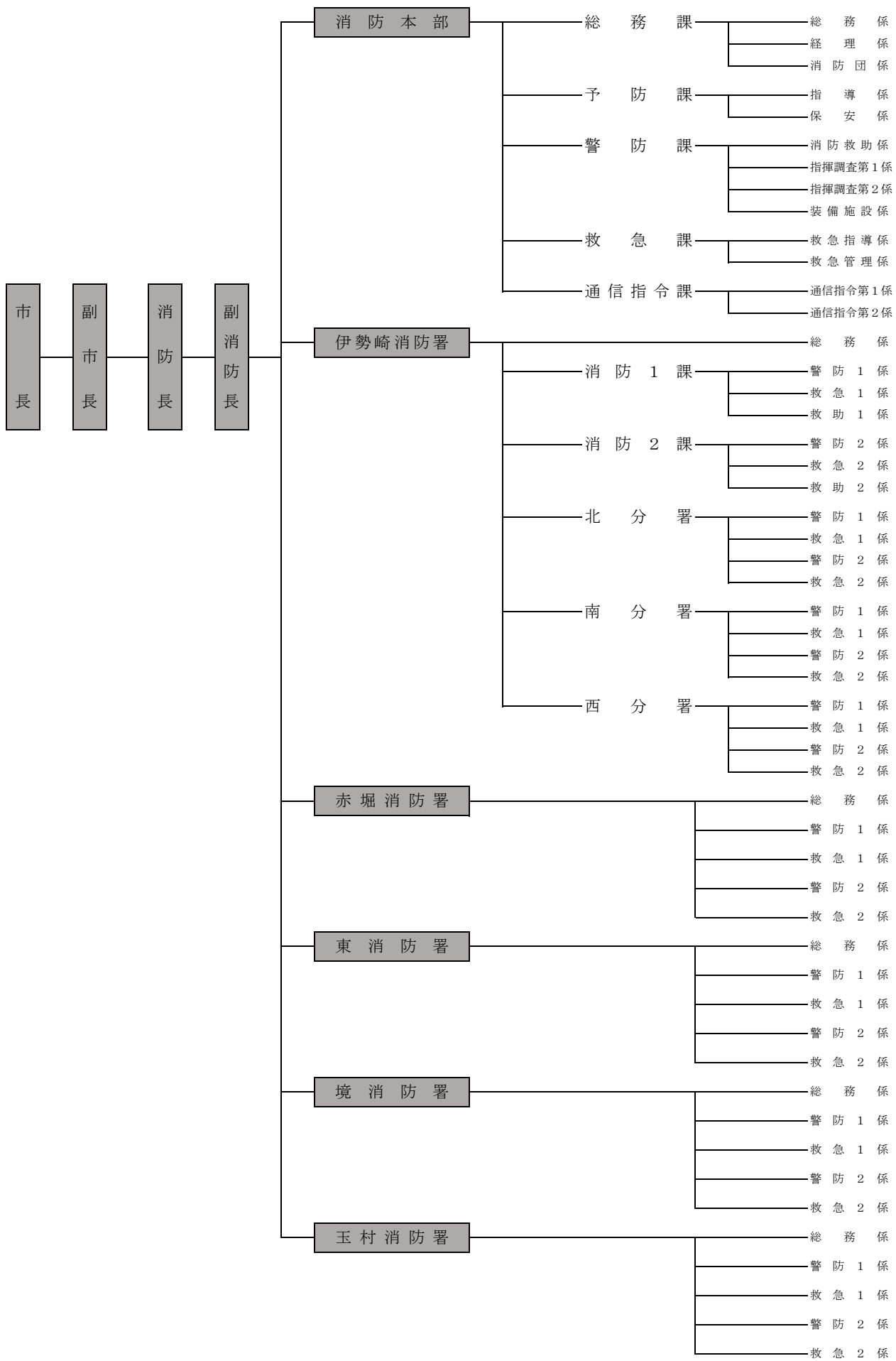


境消防署

境方面隊本部

人員	24名
タンク車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救急車	1台
指令車	1台
はしご車	1台
資機材運搬車	1台

消 防 の 組 織



庁舎の位置・概要

名 称	位 置	建物面積・構造	敷地面積 (㎡)	竣工年月日	工事費(千円)	電話・FAX(0270)	メールアドレス
消 防 本 部 伊 勢 崎 消 防 署	〒372-0031 伊勢崎市今泉町二丁目895番地	鉄筋コンクリート造4階建 延4398.33㎡	7,161.92	H27. 3	1,197,434	TEL 25-3511 (総) FAX 26-9995	sh-soumu@city.isesaki.lg.jp
		屋内貯蔵所 鉄筋コンクリート造 平屋建 17.39㎡		H27. 3	3,109	TEL 25-3311 (予) TEL 25-3916 (警) FAX 70-4121	yobou@city.isesaki.lg.jp keibou@city.isesaki.lg.jp
		車庫 鉄骨造平屋建 674.90㎡		H25 .9	83,601 (リース物件)	TEL 25-3933 (救) TEL 25-3510 (通) FAX 25-3613	kyukyu@city.isesaki.lg.jp tsushin@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場 (南) アルミ造平屋建 22.42㎡		H27. 3	978	TEL 25-3918 (伊) FAX 25-3650 TEL 25-3920 (伊救)	fd-isesaki@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場 (北) アルミ造平屋建 20.00㎡		H27. 9	5,000		
		訓練塔 A 512.35㎡		H29. 3	197,121		
		訓練塔 B 36.00㎡		H29. 3	32,227		
		訓練塔 C 168.44㎡		H29. 3	50,176		
伊 勢 崎 消 防 署 北 分 署	〒372-0015 伊勢崎市鹿島町429番地5	鉄筋コンクリート造2階建 延558.05㎡ 訓練塔 16.00㎡	2,000.00	H 9. 3 H 9. 3	168,230 6,046	TEL 25-5247 FAX 50-8198	fd-kita@city.isesaki.lg.jp
伊 勢 崎 消 防 署 南 分 署	〒372-0834 伊勢崎市堀口町656番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延389.69㎡ 訓練塔 60.00㎡	2,131.42	S57. 3 S57. 3	72,905 上記金額に含まれる	TEL 32-0062 FAX 32-9695	fd-minami@city.isesaki.lg.jp
伊 勢 崎 消 防 署 西 分 署	〒372-0803 伊勢崎市宮古町89番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延443.67㎡ 器材倉庫 20.40㎡ 訓練塔 17.85㎡	3,204.00	H 5. 3 H 5. 9 H 8. 3	108,716 3,650 5,562	TEL 21-4545 FAX 50-8126	fd-nishi@city.isesaki.lg.jp
赤 堀 消 防 署	〒379-2204 伊勢崎市西久保町二丁目341番地3	鉄筋コンクリート造2階建 延676.11㎡ 訓練塔 52.81㎡ 危険物倉庫 3.97㎡ 器材倉庫 32.08㎡	4,950.00	H15. 3 H15. 3 H15. 3 H15. 3	178,565 14,066 787 946	TEL 62-0230 FAX 62-0199	fd-akabori@city.isesaki.lg.jp
東 消 防 署	〒379-2234 伊勢崎市東小保方町3238番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延495.20㎡ 危険物倉庫 4.00㎡ 器材倉庫 20.00㎡ 訓練塔 16.00㎡	4,200.49	H 3. 3 H 3. 3 H 3. 3 H 3. 3	106,965 1,100 2,180 4,960	TEL 62-8980 FAX 40-9167	fd-azuma@city.isesaki.lg.jp
境 消 防 署	〒370-0104 伊勢崎市境木島907番地	鉄骨造2階建 延904.26㎡ 消防団車庫 鉄骨造平屋建 75.39㎡ 危険物倉庫 4.00㎡ 訓練塔 56.40㎡	5,782.00	R 5. 6 R 5. 6 R 5. 6 R 5. 6	287,971 9,869 2,074 26,228	TEL 27-9119 FAX 76-0019	fd-sakai@city.isesaki.lg.jp
玉 村 消 防 署	〒370-1105 佐波郡玉村町大字福島548番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延699.18㎡ 危険物倉庫 3.25㎡ 訓練塔 17.85㎡	4,446.00	S63.10 S63.10 H 8. 3 H23. 2	72,500 上記金額に含まれる 5,510 (庁舎増築) 34,784	TEL 65-2982 FAX 65-3157	fd-tamamura@city.isesaki.lg.jp

歴代の消防長

初代消防長	栗原 豊治郎 氏	(昭和46年 4月～昭和47年9月)
第2代消防長	高柳 良太 氏	(昭和47年10月～昭和50年3月)
第3代消防長	高橋 基樹 氏	(昭和50年 4月～昭和51年3月)
第4代消防長	栗林 啓三郎 氏	(昭和51年 4月～昭和53年2月)
第5代消防長	古池 巳之吉 氏	(昭和53年 3月～昭和53年6月)
第6代消防長	中野 美津夫 氏	(昭和53年 7月～昭和56年3月)
第7代消防長	細井 佐内 氏	(昭和56年 4月～昭和63年3月)
第8代消防長	古部 三郎 氏	(昭和63年 4月～平成元年3月)
第9代消防長	品川 忠弥 氏	(平成元年 4月～平成 4年3月)
第10代消防長	新井 静雄 氏	(平成 4年 4月～平成 6年3月)
第11代消防長	新井 周雄 氏	(平成 6年 4月～平成 9年3月)
第12代消防長	井埜 宗市 氏	(平成 9年 4月～平成10年3月)
第13代消防長	多田 紀一 氏	(平成10年 4月～平成13年3月)
第14代消防長	寺岡 勝 氏	(平成13年 4月～平成14年3月)
第15代消防長	栗原 康二 氏	(平成14年 4月～平成16年3月)
第16代消防長	田村 映 氏	(平成16年 4月～平成18年3月)
第17代消防長	高橋 溥 氏	(平成18年 4月～平成19年3月)
第18代消防長	岡田 充博 氏	(平成19年 4月～平成20年3月)
第19代消防長	清水 政利 氏	(平成20年 4月～平成21年3月)
第20代消防長	田島 武雄 氏	(平成21年 4月～平成24年3月)
第21代消防長	毒島 吉一 氏	(平成24年 4月～平成26年3月)
第22代消防長	吉田 純一 氏	(平成26年 4月～平成27年3月)
第23代消防長	笠原 仁 氏	(平成27年 4月～平成29年3月)
第24代消防長	小島 輝男 氏	(平成29年 4月～平成30年3月)
第25代消防長	大澤 芳夫 氏	(平成30年 4月～平成31年3月)
第26代消防長	五十嵐 博充 氏	(平成31年 4月～令和 3年3月)
第27代消防長	鈴木 義人 氏	(令和 3年 4月～令和 4年3月)
第28代消防長	秋山 晴彦 氏	(令和 4年 4月～令和 5年3月)
第29代消防長	丹野 武志 氏	(令和 5年 4月～令和 6年3月)
第30代消防長	矢内 博 氏	(令和 6年 4月～令和 7年3月)
第31代消防長	長岡 秀和	令和 7年 4月～